

平成 19 年度 第 2 回安全・安心協議会(発言要旨)

日時	平成 20 年 3 月 27 日 (木) 午前 10 時～正午
場所	練馬区役所本庁舎 7 階 災害対策本部室
出席委員数	53 名
傍聴者数	0 名
事務局 (危機管理室長)	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただき真にありがとうございます。ただ今から平成 19 年度第二回安全・安心協議会を開催したいと思います。私は危機管理室長の黒田と申します。協議会の開催に先立ちまして、本来であれば練馬区長からご挨拶させていただくところでございますが、区長はあいにく公務が重なっており、本日は代わって副区長の関口和雄からご挨拶を申し上げます。</p>
関口副区長	<p>おはようございます。副区長の関口でございます。先ほど黒田危機管理室長から申し上げましたように、志村区長は公務が重なっており、私から代わってご挨拶を申し上げたいと思います。</p> <p>本日は平成 19 年度第二回安全・安心協議会に御出席頂き、ありがとうございます。区長が第一回安全・安心協議会でも申しましたように、区民の安全安心が練馬区政の最優先課題の一つでございます。そういう意味で、皆様方にご協力を賜り、真に厚く御礼を申し上げます。</p> <p>さて、昨年、練馬区は板橋区から独立して 60 周年となりまして、盛大な独立記念行事を行いました。人間に例えると還暦にあたり、先人の苦勞に感謝し、皆様方のご協力をいただきまして大きな事業展開を行ってききましたが、これにつきましても 3 月の独立記念の記念植樹を持ちまして、すべての行事が滞りなく終わったと思っています。この部分につきましても皆様方から多くの御協力をいただきました。</p> <p>練馬区は独立してから一貫して人口が増加しております。今や練馬区は 70 万人を超える人口となっております。人口が増えているのは区に活力があって良いことではございますが、当然新しい住民の方、あるいは隣近所の顔が繋がっていない地域が存在します。そういう意味でも安全安心にこれからも、さらに力を入れていくべきだと思っております。今日は色々議題がございますが、先ほど『10 万人の目警戒』の新たな協定を 3 警察署長と防犯協会会長の立会いの下で協定を行ったところでございます。その中で、区で行っている安全安心パトロールカ</p>

平成 19 年度 第 2 回安全・安心協議会(発言要旨)

事務局（危機管理室長）	<p>一の有効な活用を考えていかななくてはという議題も出たところ でございます。こういう中身につきましても今後、安全安心協 議会の中で議論をしていただき、今後とも 70 万区民の安全安 心の為に御協力をお願いいたします。簡単ですが挨拶とさせて いただきます。どうもありがとうございました。</p> <p>次に協議会新委員の紹介をさせていただきます。前回の協議会か ら今回にかけまして、議員の一部変更がございました。変更後 の議員名簿につきましては資料 1 の通りとなっております。そ れから新委員の方々の所属名とお名前を読みあげさせていただきますので、非常に恐縮ですがお名前を読み上げましたら御起 立お願い致します。</p> <p>【新委員紹介】</p>
事務局（危機管理室長）	<p>それでは、審議に入りたいと思います。これ以降は会長に進 行をお譲りしたいと思います。また、真に申し訳ございません が、副区長は公務により退出させて頂きたいと思います。では 宜しくお願い致します。</p>
内田会長	<p>皆様おはようございます。お忙しい中、お集まり頂き、あり がとうございます。本日までこの会は大過なく推移してきてお りまして、本日を迎えることができました。けれども、これは 関係各行政機関並びに皆様方のお力のおかげと、心から感謝を 申し上げる次第でございます。これからもどうぞ御支援、御協 力お願い致します。</p> <p>また、これは話が違うのですが、東京防犯協会連合 会の会議におきましてボランティア団体等にお伝えするよう にお願いされていることなのですが、7月7日サミットG8が北海 道で開催されます。東京が一番防犯面が心配な都市でございま して、その件につきまして、全防犯協会は現在活動中ではござい ますが、皆様方も改めて心配りをいただきますようお願いを 申し上げる次第でございます。どうぞ宜しくお願い致します。</p> <p>それでは早速会議に入らせていただきます。『防犯防火区民緊 急通報システム』でございますが、資料 2 にございます。危機 管理室安全安心担当課長お願いします。</p>

平成 19 年度 第 2 回安全・安心協議会(発言要旨)

事務局 (安全・安心担当課長)	<p>危機管理室安全・安心担当課長丸山でございます。宜しくお 願い致します。お手元の資料2、資料3をお開き願います。</p> <p>(資料2、資料3説明)</p>
内田会長	<p>ただ今、事務局から資料2と3につきましての御報告をさせて いただきましたが、この件につきまして何かご質問等はござい ませんかでしょうか。</p>
委員	<p>内容が良く分からない点があったのですが、このシステム構 成とありますが、この方向でシステム構築を行い、検討してい くということで宜しいのでしょうか。</p>
事務局 (安全・安心担当課長)	<p>様々なシステム案を考えまして、有効なシステム構成がこの 形ではないかと提案させていただきましたが、システムを構築 するのに、約10億円かかるということなので、この案は I C T を想定して考えたものなのですが、今後は I C T にこだわらず、 広く安全・安心パトロールカーの有効活用策について考えさせ ていただきたいというのが今回の内容でございます。</p>
委員	<p>少し気になったのですが、システム案の絵の中に警察が入っ ていません。子どもが通報した時には、犯罪が発生している可 能性があると思いますが、どのように警察に通報するのかを考 えて頂きたいと思います。</p> <p>既に、子どもの通報システムでは品川区が早い時期から行っ ていますが、実は子どものいたずらがものすごく多く、警察が 振り回されるという問題があり、品川区は区内にオペレータを 設置し、その人が現場とのやり取りで確認を行い、警察に通報 しているシステムをとっていて、かなり苦勞されているようで す。是非参考にいただき、警察との連携をどのように行う かを御検討頂きたいと思います。</p>
事務局 (危機管理室長)	<p>今のご意見ですが、私共もシステム構築の時点で警察との連 携が気になりまして、そういう意味で保護者に確認を行って もらうために、システム図に保護者を示しております。</p> <p>一方、この I C T を使う端末の設置は開発途上段階であり まして、非常に高額な金額がかかることが発覚しました。また、 警察が本来担うべきこともございますので、その流れを整理す</p>

平成 19 年度 第 2 回安全・安心協議会(発言要旨)

<p>内田会長</p>	<p>る意味で、専門部会を作りまして、もう一度検討を重ねたいというのが今回の御提案となっております。</p> <p>今回この諮問事項を審議するにあたりまして、専門部会の設置について、ご提案させて頂いております。専門部会の設置についてはどのようにお考えですか。</p> <p>(一同賛成)</p>
<p>内田会長</p>	<p>ありがとうございます。今後、専門部会のメンバーの方々による踏み込んだ検討をお願いするようになると思います。その内容につきましては、協議会で報告して頂きたいと思います。それでは、審議事項におきましては、これをもちまして終了させていただきます。ありがとうございました。後は、報告事項でございますので、事務局から進行を進めて頂きたいと思えます。</p>
<p>事務局 (危機管理室長)</p>	<p>それでは次第の(3)報告事項に入らせて頂きます。事務局から一括してご説明させていただきます。</p>
<p>事務局 (安全・安心担当課長)</p>	<p>それでは、お手元の資料4、資料5、資料6、資料7をお開き願います。</p> <p>(資料4、資料5、資料6、資料7の説明)</p>
<p>事務局 (安全・安心担当課長)</p>	<p>報告につきまして、ご質問ある方は挙手をお願い致します。</p>
<p>委員</p>	<p>資料4の平成20年度の実績についてですが、安全・安心パトロールカーについては、予算も一番大きいです。そこで質問なのですが、実際数年続けている安全安心パトロールカーにおいての本年度の具体的な成果および問題点をまとめられていると思いますが、そのまとめをどのように公表されているのですか。</p>
<p>事務局 (安全・安心担当課長)</p>	<p>平成19年度についてはまた作成中なのですが、平成18年度までの内容につきましては、事務事業評価という形で、公表しております。また、安全・安心パトロールカーの評価は目に見えるものではないので非常に評価しにくいものでありまして、具体的な数値というものはあげにくいものでございます。そこで、</p>

平成 19 年度 第 2 回安全・安心協議会(発言要旨)

委員	<p>安全・安心パトロールカーの貸し出し件数及び区民意識意向調査の中の防犯防火の区民の満足度ということで考えさせて頂いております。</p> <p>事務事業評価といたしましては平成18年度までの内容につきまして、練馬区のホームページで確認することができるものであります。</p> <p>現在、安全・安心パトロールカーの貸し出し件数につきましては伸びております。また練馬区の区民意識意向調査の中の防犯防火の区民の満足度につきましても、徐々に上がっている傾向にありまして、そういった意味でも安全・安心パトロールカーの評価が上がっているものと考えています。また、先ほど安全・安心協議の中で提案させていただきました、安全・安心パトロールカーの有効活用策につきましても、そういった観点からご意見をいただければと考えております。</p> <p>一点お願いがあるのですが、事業の実施は評価するシステムと一体になって行うべきだと思います。確かに評価が難しいとは思いますが、何らかの形で評価するといったシステムを作った上で、実施するといった形が必要ではないかと非常に感じます。</p>
事務局（危機管理室長）	<p>私共も全ての事業につきまして、事務事業評価という形で公表しています。各指標が適切かどうかは第三者の機関に評価をいただいている状況です。</p> <p>しかし、安全・安心パトロールカーは巡回しているのは知っているが犯罪件数がどのくらい減ったのか、安全な街になったのかというのを、区民が実感して頂くために、更なる施策の展開を行っていきたいと思っております。</p>
委員	<p>全体の感想となりますが、先ほどのICTシステムの話ですが、金や機械に頼るのではなく、まず、人に頼って安全安心を考えた方がいいと思います。防犯の目的は犯罪を減らすこともありますが、防犯を通じて、人と人との繋がりがもてるのが目的だと思います。</p> <p>そういった意味ではICTシステムですと、人々の実感が得られないと思います。そこで是非検討していただきたいのが、子ども110番の家の教育や有効活用の検討を行ってほしいと思います。</p>

平成 19 年度 第 2 回安全・安心協議会(発言要旨)

事務局（危機管理室長）	私共も色々な考え方に基づいた様々な施策を行っていかうと思っております。先ほどの資料4の2点目で挙げているのですが、情報を共有化し、連携組織の構築も含めて防犯を考えています。
委員	光が丘に埼玉県のと光市からの放送が聞こえてくるのですが、主に徘徊者を見つけてほしいとの放送なのですが、かなり良く聞こえています。そこで、システム構築に拡声器も取り入れてはどうでしょうか。
事務局（危機管理室長）	放送塔の活用につきまして、予算委員会の中でも、子どもたちの下校に活用してはどうかという意見がありました。 一方、放送がうるさいのではないかという意見も出ています。そういった意見を兼ね合わせながら検討していきたいと思えます。また、高齢者の見守りは練馬区がモデル地区となっており、対応を検討中であります。
事務局（危機管理室長）	それでは報告事項①～④に関しましてはこれで終わらせていただきます。その他ということで、警察から情報提供がござります。それでは望月様お願いします。
練馬警察署長	それでは、皆様に2点お願いをしたいと思います。1点目はメールの配信の事です。練馬区では『ねりま安全・安心メール』というメール配信システムが運用されていますが、実は、警視庁も遅ればせながらメール配信システム『メールけいしちょう』を始めました。今までも、メール配信システムはあったのですが、今度は警察署から直接、区民の皆様にメールを配信するシステムが4月から開始されます。例えば、緊急の場合は2時間以内にメールを発信することや、メールを返信して頂くことで、区民の方からの情報提供が行えるようになりました。皆様方からの情報提供を行ってほしいと思っていますので、是非『メールけいしちょう』に登録していただけたらと思っています。また、登録する警察署、メールで受け取りたい情報・時間帯を選ぶことが出来ますので、多くの方に登録をしていただきまして、防犯に役立てばと思っております。 2点目はサミットG8の事です。国際情勢が変わりまして、最近では、電車・駅など人が集まる場所での国際テロの危険性が増してきています。私共も練馬区内でのテロを絶対に発生させないよう十分警戒を行っています。そういった意味で、『10

平成 19 年度 第 2 回安全・安心協議会(発言要旨)

<p>事務局（危機管理室長）</p>	<p>万人の目』は通常の犯罪の防止が目的でしたが、それに加えてテロ関連で、夜中に集まる集団がいるなどの情報提供についても行ってほしいと思います。以上、お知らせとお願いということで宜しくお願い致します。</p> <p>以上で、報告事項を終わらせていただきます。内田会長、宜しくお願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p>ご清聴、ご審議頂ましてありがとうございます。これを持ちまして、本日の会議を終わらせていただきたいと思います。その前に渡邊副会長から御挨拶を頂きたいと思います。</p>
<p>渡邊副会長</p>	<p>年度末の大変お忙しい中、ご出席いただき真にありがとうございます。ただ今、数々の貴重なご意見を頂戴したわけがございます。確かに、現代はIT社会となっております、先ほどの区民緊急通報システムのほうもご意見頂戴いたしました。これは、区の方からもかなり予算がかかるとございましたが、あくまでも草案であるにご理解いただきまして、これから専門部会を作り、皆さんの意見を頂戴しながらまとめていきたいと思っております。先ほどの意見にありました、機械ではなく人間対人間のことを考えていくという意見ですが、確かに昔はコミュニケーションが成熟しており、うまく行っていました、時代が進歩し、我々が進歩に追いついていないのではと思います。確かに安全安心のことを考えますと、広く大きな分野であると思いますが、少しでも練馬区の安全安心を果たすべく、皆様と共に力をあわせていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>続きまして、田中副会長、宜しくお願いいたします。</p>
<p>田中副会長</p>	<p>今日は、大変お忙しい中、朝早くからご出席いただき真にありがとうございます。皆様方の御協力を賜りまして素晴らしい協議会が開けたと思います。地域や自分たちを守るという意義の基に、皆様方の暖かい御協力をいただければ何よりと思っております。やはり皆様のお力がなければ、明るい町、そして住みよい街にすることが出来ないのも皆様と一緒に一所懸命がんばっていききたいと思っております。今日は本当にありがとうございました。</p>

平成 19 年度 第 2 回安全・安心協議会(発言要旨)

会長	<p>それでは、これで本日の協議会を終了させて頂きたいと思 います。委員の皆様ご協力いただき誠にありがとうございました。</p> <p>～ 閉会 ～</p>
----	--